

コンサルテーション事業報告

事業の名称	発達相談	事業代表者	田中 真理
対象	発達障害児・者、発達障害児・者の家族（親ときょうだい）、発達障害児の在籍する学校教師、発達障害児が通う塾講師、スクールカウンセラー		
目的と内容	①目的 発達障害児・者および家族などへの心理臨床的援助 発達障害児・者が通う学校などへの助言 ②内容 発達障害児を対象とした個別面接 // 集団面接 発達障害児の親を対象とした個別面接 // 集団面接 発達障害児の在籍する学級担任との面接（学校訪問面接を含む） 発達障害児が通う学校のスクールカウンセラーおよび塾担当者との面接		
実施日および実施回数	①実施日 第一・三土曜日のほか不定期に実施している ②実施回数および実施形態 面接総合計回数 270回 （各来談者の面接を1回とした場合の総面接回数） （各面接形態の面接を1回とした場合の総面接回数） 57回 面接形態別面接回数 集団遊戯面接 18回 集団面接：親グループ 18回 : 青年期グループ 5回 個別相談面接 12回 学校への訪問面接 4回		
実施場所	臨床心理相談室、田中研究室、訪問先の学校		
主なスタッフ	田中真理および田中研究室の指導学生	人数	
	滝吉美知香（東北大学大学院教育学研究科博士後期課程） 中山奈央（東北大学大学院教育学研究科博士前期課程） 斉藤維斗（ ） 横田晋務（ ） 李 熙馥（ ” 研究生） 舘花佳奈子（東北大学教育学部） 米森絵里（東北大学経済学部） 呂 羅英（東北大学教育学部研究生、李花女子大学大学院）		
スタッフの活動内容	① 知能検査・発達検査・心理課題の施行 ② 面接担当 ③ 面接記録の作成：VTR で記録したものをもとに逐語録の作成、毎セッションにおける各事例の考察、スタッフによる関わりについての考察 ④カンファレンスへの出席（19年度においては19回のカンファレンスを行なった、1回においては医療機関から対象者の主治医および対象者在籍校の担任教師とともに行なった） ⑤事例報告の作成 『グループワークを通じた軽度発達障害児の他者への志向性(4)』滝吉・田中 『子どもの対人関係の困難さを主訴として来談した親に対する集団心理面接(2)』横田・田中 『子どもの対人関係の困難さを主訴として来談した親に対する集団心理面接(3)』中山・田中		